

2021年3月期第1四半期 決算補足資料

2020年8月6日



(東証二部 9857)

連結決算概要	．．．	P. 3
品目別売上高	．．．	P. 4
業界別売上高	．．．	P. 5
バランスシート（連結）	．．．	P. 6
連結業績推移	．．．	P. 7

(単位:百万円)	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	増減額		前年 同四半期比		2021年3月期 業績見通し
売上高	7,650	7,534	△	115	△	1.5%	35,000
営業利益	188	133	△	54	△	28.8%	810
経常利益	204	146	△	57	△	28.4%	860
親会社株主に帰属する 四半期純利益	129	86	△	43	△	33.3%	539

決算の概況

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、在宅勤務や時差出勤の推進のほか、営業活動においても対面営業の自粛を余儀なくされるなどしましたが、当第1四半期連結累計期間ではその影響は限定的で、官公庁向けの産業車両や各種機器等、社会インフラ投資に関する受注は堅調に推移しました。販売については、石油化学業界やプラント・エンジニアリング業界向けにコンビナートエリアでの定期修理に伴う機器の販売やリプレイス需要が堅調に推移しましたが、鉄鋼業界や船用関連業界等向けの販売が減少しました。

(注) 本資料中の金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

品目別売上高

(単位:百万円)	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	前年 同四半期比		構成比
工業用計測制御機器	3,599	3,696	+	2.7%	49.0%
環境計測・分析機器	774	624	△	19.4%	8.3%
測定・検査機器	446	344	△	22.8%	4.6%
産業機械	2,829	2,869	+	1.4%	38.1%
合計	7,650	7,534	△	1.5%	100.0%

増減要因

◆ 工業用計測制御機器

働き方改革や設備の安定・安全稼働のため、IoT等を活用した生産設備の自動化や遠隔監視システムの提案に取り組みました。その結果、鉄鋼業界や船用関連業界向けで各種センサーの販売が減少したものの、コンビナートエリアでの定期修理や老朽化した設備に関連した機器の更新需要を獲得し、石油化学業界、プラント・エンジニアリング業界向けで各種センサーや情報通信機器の販売が増加しました。

◆ 環境計測・分析機器

労働環境の安全・安心の向上に向けた環境計測機器の提案、老朽化が進行する上下水道処理施設等の社会インフラ設備や民間企業での定期修理需要を契機とする水質・大気・ガス分析計の販売に取り組みました。その結果、プラント・エンジニアリング業界や石油化学業界向けの販売は堅調に推移しましたが、鉄鋼業界向けの販売が減少したことにより、全体として減少しました。

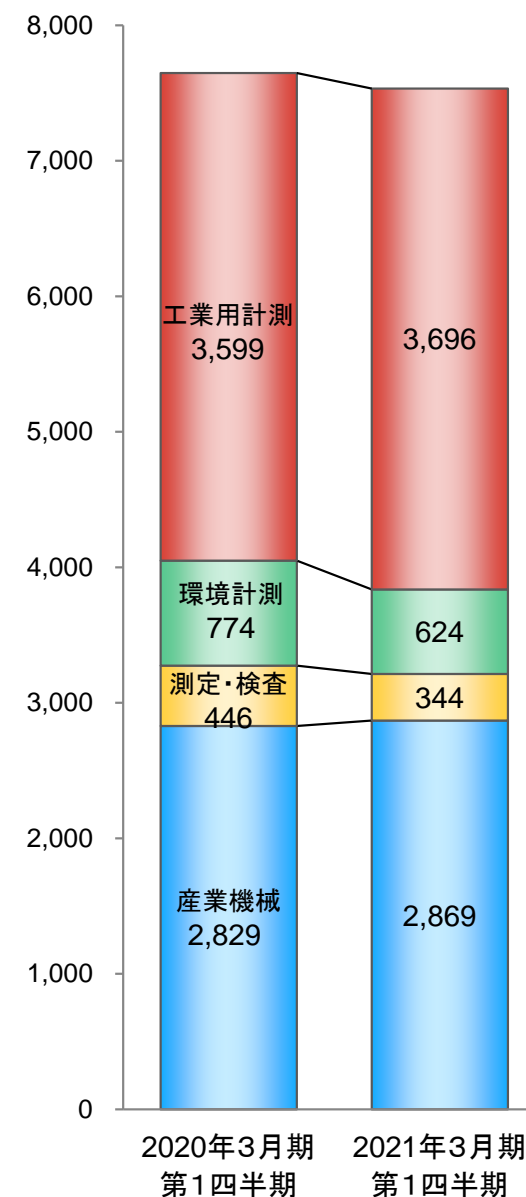
◆ 測定・検査機器

研究部門、品質保証部門へ生産設備の安定稼働につながる保守点検に使用する保安メンテナンス機器、製品の品質や精度の向上を目的とした各種測定検査機器の販売に取り組みましたが、自動車業界で設備投資の先送りや縮小が見られ、販売が減少しました。

◆ 産業機械

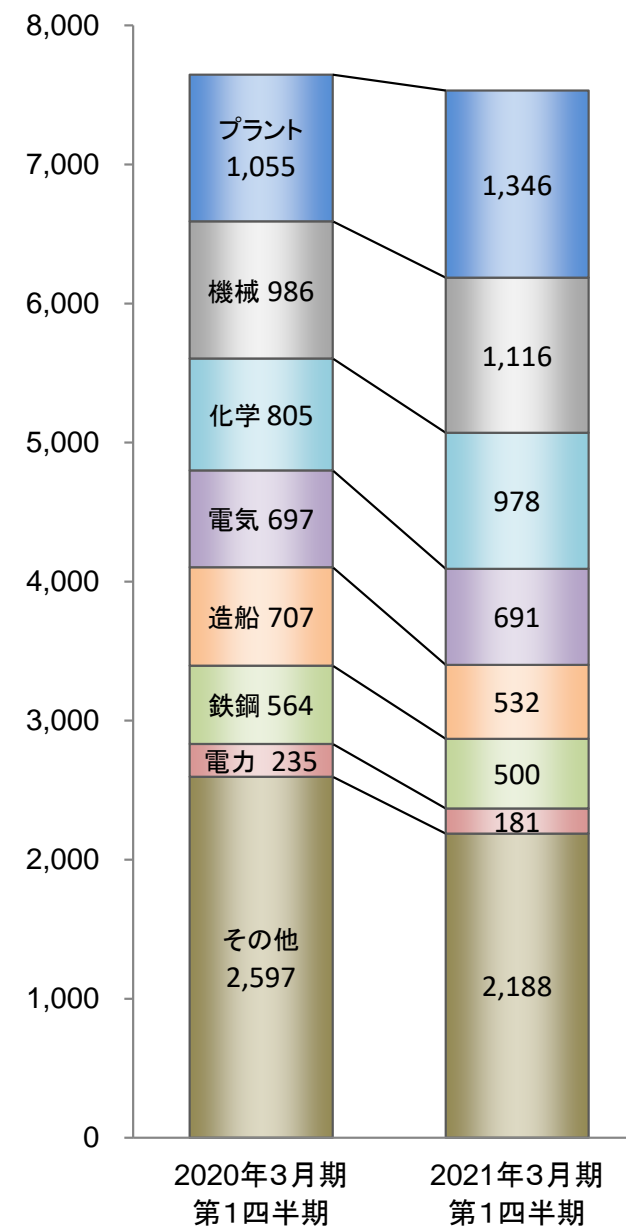
省エネルギーや高効率につながる各種機器の導入、社会インフラ設備や民間企業における老朽化した設備に付帯する機器の更新提案営業に取り組みました。その結果、災害対策に関連する社会インフラ向けの各種産業車両の受注が堅調に推移しました。販売においては、コンビナートエリアでの定期修理需要の獲得により、石油化学業界やプラント・エンジニアリング業界向けでポンプやバルブの販売が増加しました。

(単位:百万円)

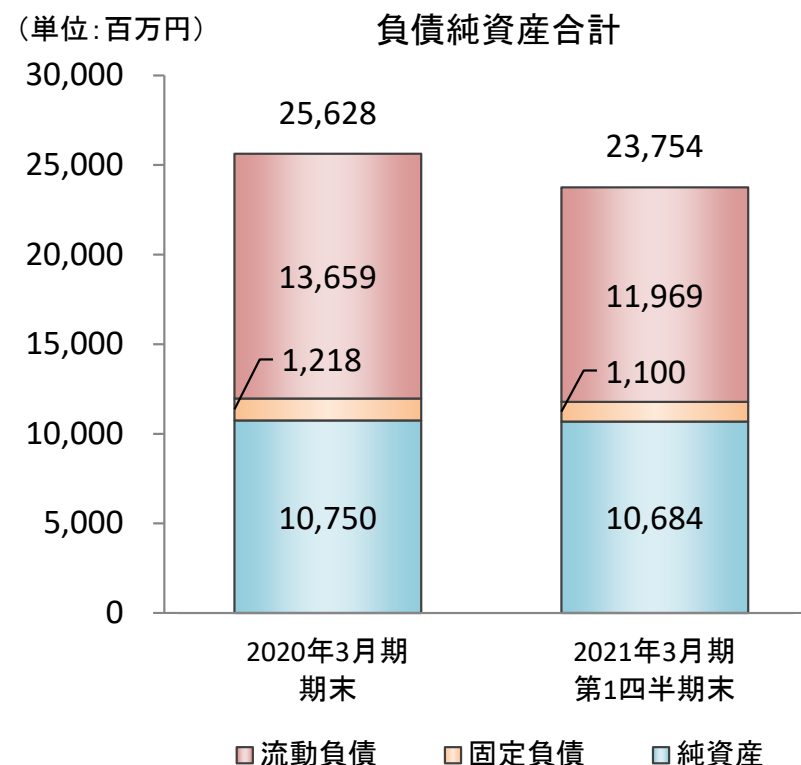
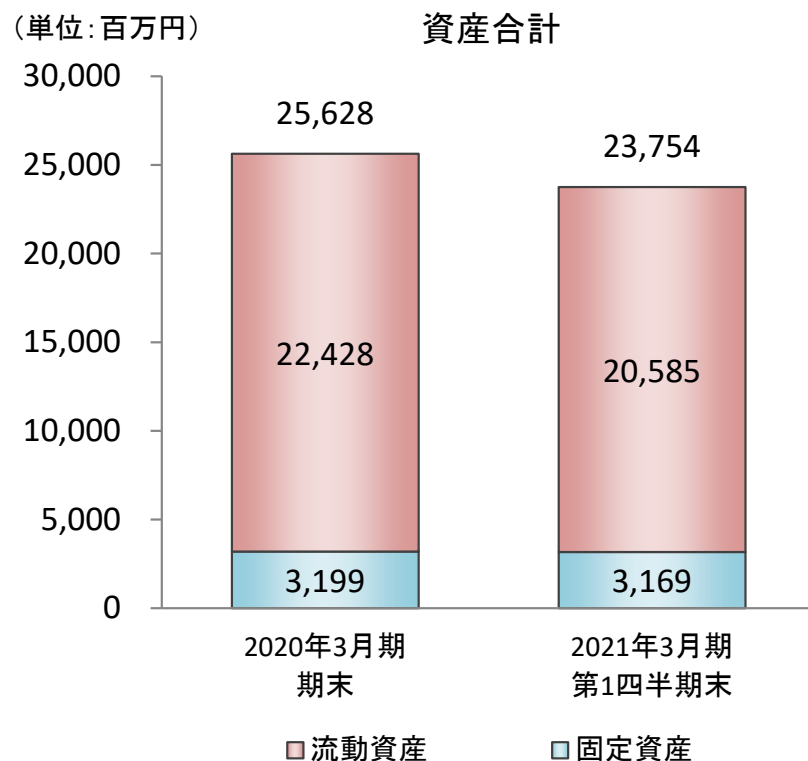


(単位:百万円)

(単位:百万円)	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	前年 同四半期比	構成比
プラント	1,055	1,346	+ 27.5%	17.9%
機械	986	1,116	+ 13.2%	14.8%
化学	805	978	+ 21.4%	13.0%
電気	697	691	△ 0.9%	9.2%
造船	707	532	△ 24.7%	7.1%
鉄鋼・ 非鉄金属	564	500	△ 11.4%	6.6%
電力	235	181	△ 22.8%	2.4%
その他	2,597	2,188	△ 15.7%	29.0%
合計	7,650	7,534	△ 1.5%	100.0%



バランスシート(連結)



2021年3月期第1四半期 ハイライト(カッコ内は前期比)

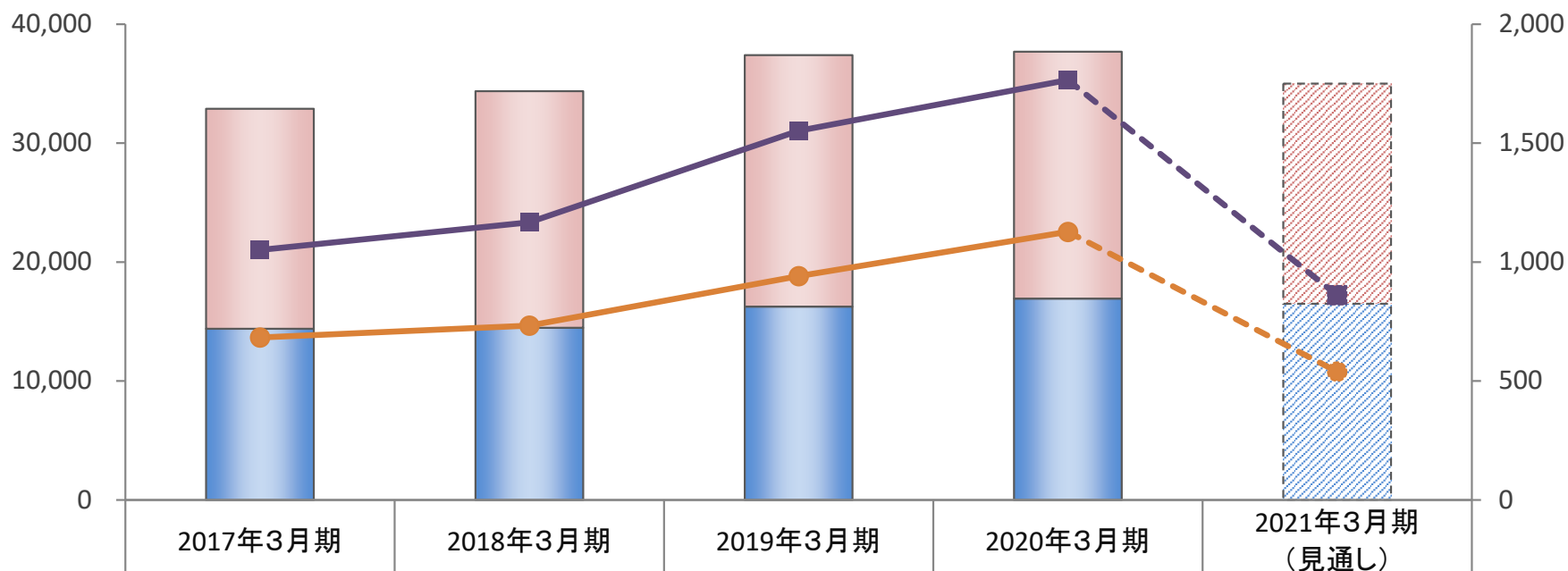
(単位:百万円)

資産	【増減の主な要因】
◆受取手形及び売掛金: 12,390(△2,433)	売上債権の回収が進んだことにより減少しました
◆現金及び預金: 4,819(+327)	

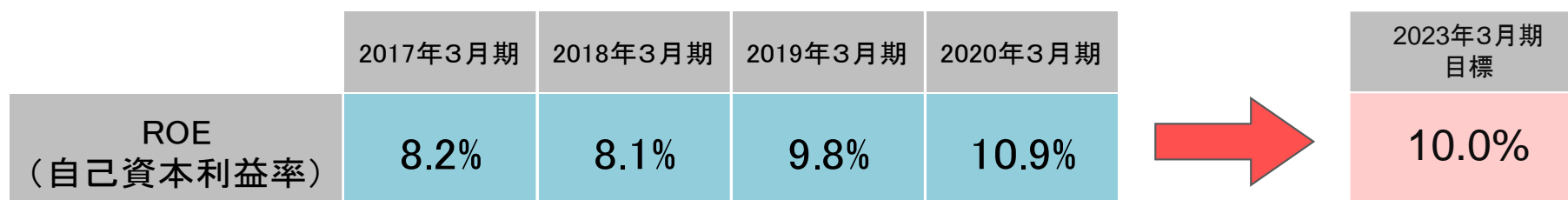
自己資本比率 : 45.0% (2020/03時点 41.9%)

負債・純資産	【増減の主な要因】
◆支払手形及び買掛金: 4,497(△2,253)	仕入債務の決済が進んだことにより減少しました
◆純資産: 10,684(△65)	四半期純利益86百万円に対し配当の支払い△170百万円等がありました

(単位: 百万円)



3~4Q売上高(左軸)	18,490	19,888	21,143	20,758	18,500
1~2Q売上高(左軸)	14,396	14,479	16,251	16,924	16,500
売上高	32,886	34,367	37,394	37,682	35,000
経常利益(右軸)	1,051	1,167	1,552	1,765	860
親会社株主に帰属する 当期純利益(右軸)	683	733	941	1,127	539



本資料に関するお問い合わせ先



経営企画部

TEL: 06-6539-4816

E-Mail: ir-info@eiwa-net.co.jp

URL: <https://www.eiwa-net.co.jp>

(注)この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受けるため、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。本情報及び資料の利用は、利用者の判断によって行っていただきますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。